２０２１年6月４日

各位

太平洋セメント株式会社

弊社埼玉工場における爆発事故について（第三報）

２０２１年４月２７日に「弊社埼玉工場における爆発事故について」として、４月２６日２１時５８分に、弊社埼玉工場（埼玉県日高市）の自家発電設備において、爆発事故が発生した旨をお知らせいたしました。この度、事故発生原因究明のため第三者委員会を設置しましたので、事故発生状況の詳細を含めた現時点の情報をご報告いたします。

改めまして、近隣住民の皆さま、お客様、関係企業の皆さま、関係当局の皆さまなど多くの方々に多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

記

１．事故の概要

１）原因施設

工場北側に設置している自家発電設備

（発電出力　５万キロワット）

２）事故発生時の状況

4 月 26 日

21：58　爆発音後ボイラ停止が発生。

22：00　現場確認にてボイラ側壁および炉底が損傷していることを発見。

22：30　消防車両が入場、現場を確認。

木質チップ輸送ベルトコンベア中間部および先端シュート付近で燻りがあり消火。

4 月 27 日～　警察および消防による検証を実施（継続中）。

３）被害状況

①人的被害

事故発生時に隣設した駐車場にいらした方々から体調不良のお申し出があり、対応をさせて頂いております。また、警察・消防からのご連絡では近隣住民の皆さまをはじめとする工場外の方々でケガ等を負われたとの連絡はございません。

②物的被害

上述の原因設備において爆発が発生し、場外にまで瓦礫等が飛散し、車両等の火災、建物・車両等の破損ならびに汚損、農作地への飛散等の被害の発生を確認しております。

＊主な飛散物

・発電設備の瓦礫（金属片、保温材など）

・発電設備の炉材（珪砂、石灰石など）

・発電設備の燃料（石炭、木質チップ、廃プラスチック・廃紙由来固形燃料など）の燃え殻

※セメント系物質は含まれておらず、水と反応し硬化するものではございません。

２.工場の操業

当該発電設備以外の設備への影響はなく、セメント製造設備の安全性を確認した上で、セメントの製造ならびに出荷は通常どおり継続しております。

なお、５月下旬から７月上旬にかけて予定しております定期メンテナンスにおいて、セメント製造設備の運転を停止しての設備の総点検と必要な修繕を行います。

また、日高市様よりご依頼を受けております都市ごみ（可燃ごみ）の処理につきましては通常どおり継続しております。

３.事故原因の究明と再発防止策の策定

二次災害のリスクを排除し、設備内部を調査する環境が整いつつあることを受け、客観的な調査に基づく事故原因の究明と再発防止策の策定のため、６月１日に外部の有識者を含めた第三者委員会を設置いたしました。今後、弊社ならびに第三者委員会にて、次の事項の検証を進めて参ります。

＊主な調査・実施項目

・事故前後の運転データ解析

・ドローンを用いた設備内部の画像解析

・事故点周辺の配管等の物理検査

・上記の解析・検査による爆発の原因の究明と再発防止策の策定

４.被害等への対応

本社関係部ならびに埼玉工場と社内の緊急対策チームを設置し、誠意をもって被害等の対応にあたらせて頂いております。

なお、５月２５日から５月末日にかけて日高市内全域を対象として郵便局のタウンメールにてお詫びと事故内容説明の文書を送付いたしました。

以　上

＜本件に関するお問い合わせ先＞
太平洋セメント株式会社
総務部ＩＲ広報グループ
TEL ０３－５８０１－０３３４